

承認組合（※）による農林漁業法人等への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	とちぎん農業法人投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	株式会社とちぎんキャピタル	
組 合 員	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社栃木銀行 ・株式会社とちぎんキャピタル ・株式会社日本政策金融公庫 	
組 合 規 模	5億円	
投 資 対 象 の 範 囲	栃木県を中心に茨城県、群馬県及び埼玉県の農業法人	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 わ せ 先	担 当 部 署	株式会社栃木銀行法人営業部地域創生室
	連 絡 先	T E L : 028-633-1261

※「承認組合」とは、農林漁業法人等投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農林漁業法人等の株式等の取得及び投資先農林漁業法人等に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事 例 1	出 資 先 名	株式会社 F a r m大越
	所 在 地	栃木県宇都宮市
	事 業 内 容	いちご・水稻生産
	出 資 額	30 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、有機栽培にて完熟つる付きのいちご生産を行い、安心安全な「売れる商品」を作ることで、生産から販売までの一貫した経営を可能とし、平成 28 年 8 月に法人化するなど農業経営に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>今回の出資は、経営規模の拡大や従業員の福利厚生充実を図ることを目的としており、今後の成長が十分見込める企業であることから、出資を決定。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金及び運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成 28 年 12 月

事例2	出資先名	有限会社ハーレイ牧場
	所在地	栃木県那須塩原市
	事業内容	酪農業・オリジナル乳製品販売
	出資額	30.1百万円
	出資の経緯 (目的)	<p>同社は、酪農を主業とした農業法人であり、自社牧場の生乳を使用したオリジナル商品の生産販売への取組(6次産業化)や女性活躍経営体100選(平成27年度、農林水産省)への取組などが高く評価されている。</p> <p>今回の出資は農業と福祉の連携を念頭においた雇用創出及び経営規模拡大を図るため第二牧場を整備する事業への支援であり、今後の成長が十分見込める企業であることから出資を決定。</p>
	出資金の用途	設備資金及び運転資金
	出資形態	無議決権株式引受
	契約時期	平成29年4月

事例3	出資先名	有限会社ECO山本
	所在地	栃木県小山市
	事業内容	さつまいも・水稻等の生産・加工・販売
	出資額	10百万円
	出資の経緯 (目的)	<p>同社は、農林水産省から「六次産業化・地産地消費」に基づく総合化事業計画の認定を受け、消費者ニーズに沿った農産物の生産・加工・販売を自社にて一貫して行っている。</p> <p>今回の出資は、生産規模の拡大や新商品開発・販売の支援を目的としており、今後の成長が十分見込める企業であることから出資を決定。</p>
	出資金の用途	設備資金及び運転資金
	出資形態	無議決権株式
	契約時期	平成30年1月

事例 4	出 資 先 名	株式会社 百姓屋えびはら
	所 在 地	栃木県さくら市
	事 業 内 容	水稲・麦・ねぎ・いちごの生産
	出 資 額	非公表
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、平成 28 年に法人化した土地利用型農業を主とする農業法人であり、地域農業の担い手として意欲的に農業経営に取り組んでいる。</p> <p>今回の出資は、同社が昨年より開始した「いちご生産」を規模拡大するための支援であり、今後の成長性が十分見込める企業であることから出資を決定。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金及び運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式
契 約 時 期	平成 30 年 6 月	

事例 5	出 資 先 名	パナプラス株式会社
	所 在 地	栃木県栃木市
	事 業 内 容	野菜苗・ミニトマト生産販売
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、家庭菜園用苗の生産販売を主業とする、農業法人である。</p> <p>今回の出資は、同社が開発したミニトマト「こくパリ®」の生産規模の拡大に必要となる資金の一部を、支援するためである。</p> <p>地域の担い手として、今後の成長が期待できる企業であることから出資を決定。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金及び運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	令和元 (2018) 年 9 月	

事例 6	出 資 先 名	有限会社森牧場
	所 在 地	栃木県那須塩原市
	事 業 内 容	酪農業
	出 資 額	15 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社では、今般、後継者の就農を契機に飼育頭数を最大化し、生産規模を拡大することになった。</p> <p>今回の出資は、将来の地域の担い手となる若手後継者が就農する経営体への出資であり、地域の主力産業である酪農業の発展を支援するものとして決定。</p>
	出 資 金 の 使 途	初妊牛導入資金及び運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和2年2月